

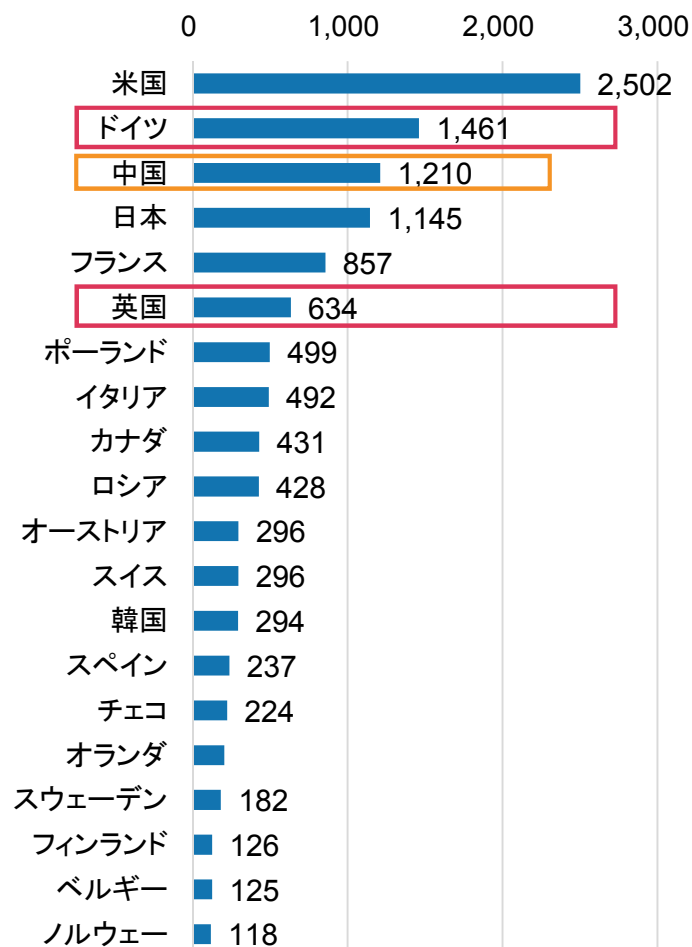
海外スキー市場に関するデータ整理

平成30年6月1日

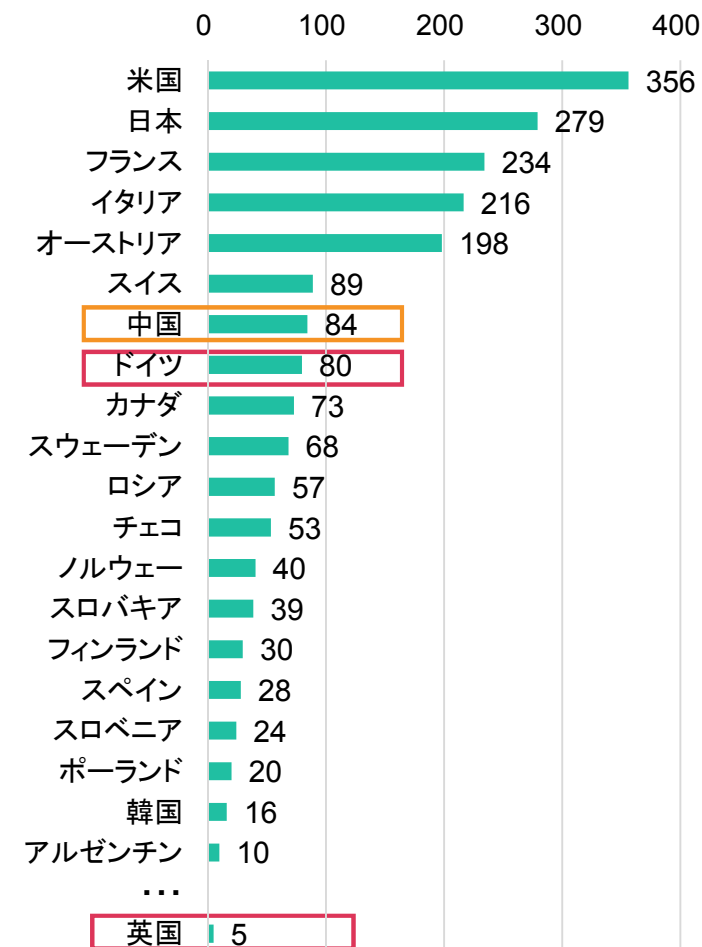
スキーリゾート数・スキー人口等に関する国際比較

- 潜在的スキー人口が多い一方で、自国のスキーリゾート数(リフト5基以上)が少ないのは中国(1,210万人、84箇所)、ドイツ(1,461万人、80箇所)、英国(634万人、5箇所)であるので、**スキーリゾートへのアウトバウンド国**としては**中国、ドイツ、イギリス**が有望と考えられる。
- 一方、**スキーリゾートへのインバウンド**は、オーストリア(3,414万人)、フランス(1,458万人)、スイス(1,056万人)、イタリア(945万人)といった**アルプス諸国に集中**している。

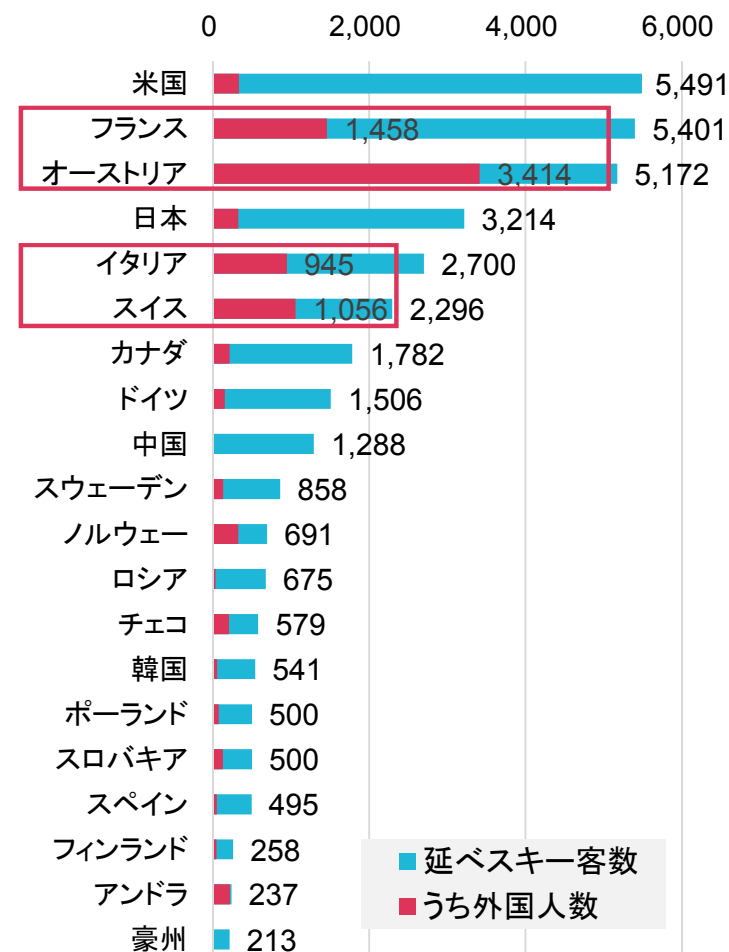
潜在的スキー人口(万人)



スキーリゾート数(リフト5基以上)



延べスキー客数(最新5か年平均、万人)



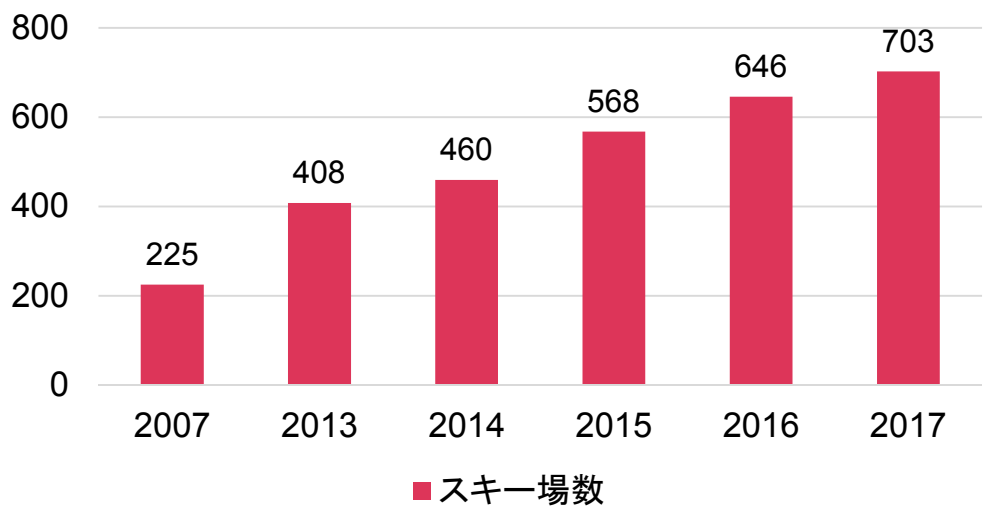
■ 延べスキー客数
■ うち外国人数

(出典) Laurent Vanat, "2018 International Report on Snow & Mountain Tourism", 2018年4月

中国のスキー市場の概要

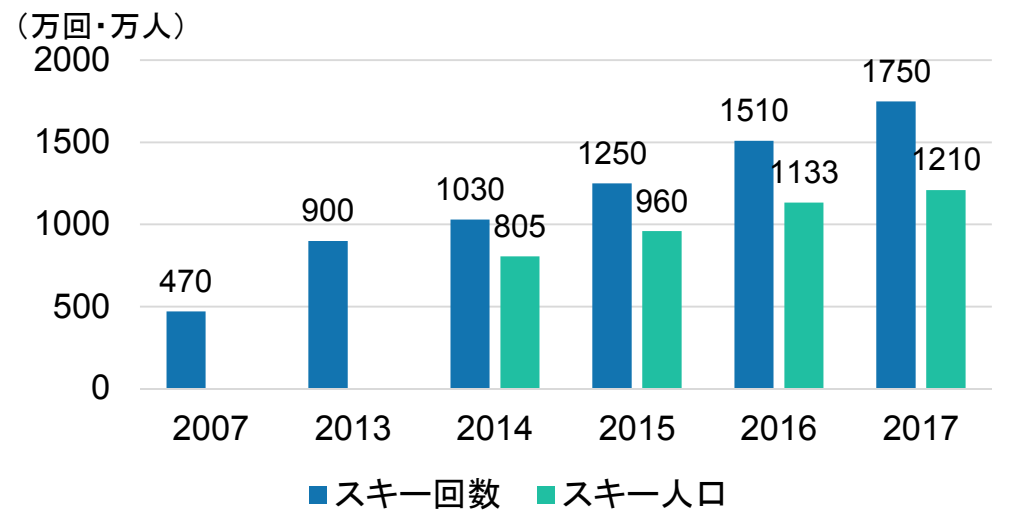
- 2022年北京冬季五輪に向けて、**中国スキー市場が急成長中**。
- 「全国冰雪スポーツ施設建設計画(2016~2022年)」、「冬季スポーツ発展計画(2016~2015年)」を策定し、2022年までに国内スキー場:800箇所、2025年までにウインタースポーツのレジャー人口3億人を目指している。

中国のスキー場数



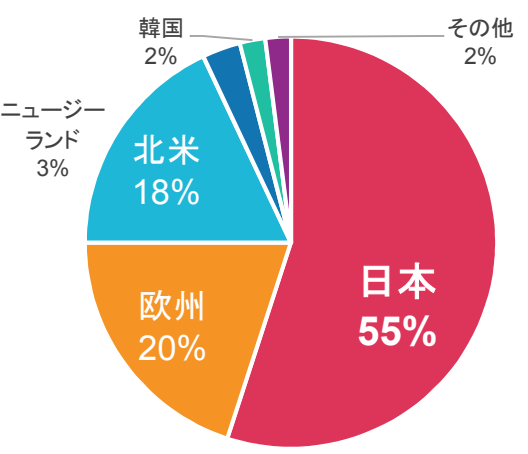
(出典) 2017中国滑雪产业白皮书(中国スキー産業白書)

中国人のスキー回数・スキー人口



(出典) 2017中国滑雪产业白皮书(中国スキー産業白書)

海外の人気スキー目的地



<富裕層にも日本でのスキーが人気>

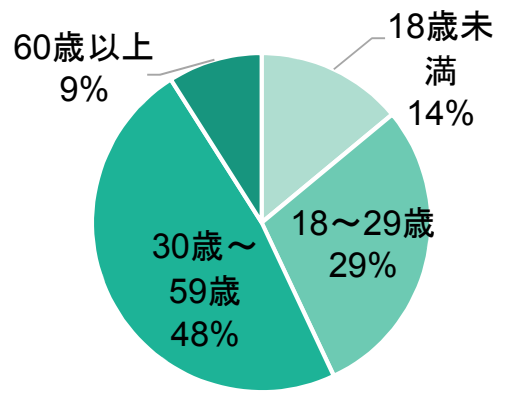
富裕層旅行に関する調査
(中国奢华旅游白皮书2017)
(調査対象:概ね1,000万元(1.7億円)以上の資産保有者)

人気スキー目的地

- 1位 日本(32%)
- 2位 韓国(10%)
- 3位 カナダ(8%)
- 4位 スイス(7%)

(出典) 2017中国滑雪产业白皮书(中国スキー産業白書)

ウインタースポーツ(スキー以外を含む)参加者の年齢分布



ウインタースポーツの参加者は30代以上が中心

(出典) 中国冰雪旅游发展报告2017

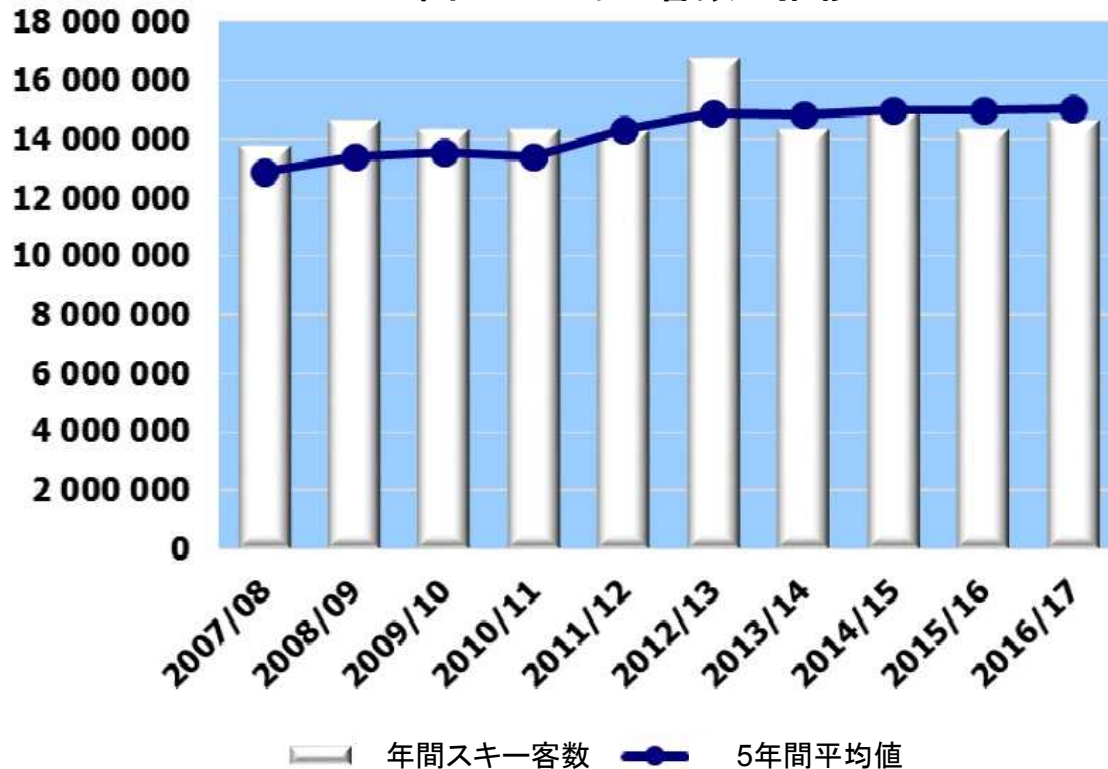
ドイツのスキー市場の概要

- ドイツ国内の延べスキー客数は1,400万人程度で安定して推移しており、ドイツ人のスキー実施者数は一定の水準をキープしていると考えられる。
- 一方、ドイツ国内のスキー場は小規模なものが多いことから、ドイツは世界のスキー市場におけるアウトバウンド大国となっている。

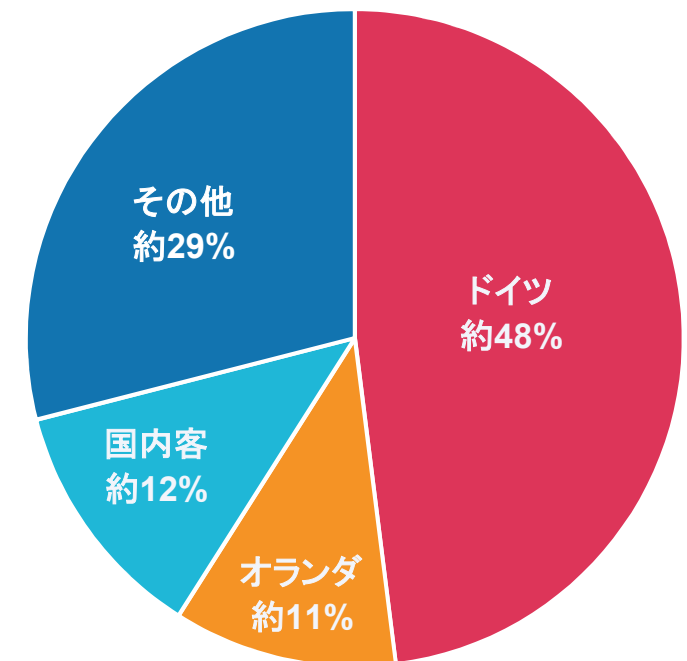
< 2018 International Report on Snow & Mountain Tourism より >

- ドイツ国内の潜在的スキー人口は1,461万人と欧州で最多。
- ドイツ国内のスキー場(498箇所)のうち、半数近くがリフト数1基の小規模なスキー場。
- ドイツ人は海外のスキー市場における消費額が大きく、特にオーストリアのスノーリゾートを訪れている外国人の中で最大の消費者。

<ドイツ国内のスキー客数の推移>



<オーストリアのスノーリゾート宿泊者の国別割合>



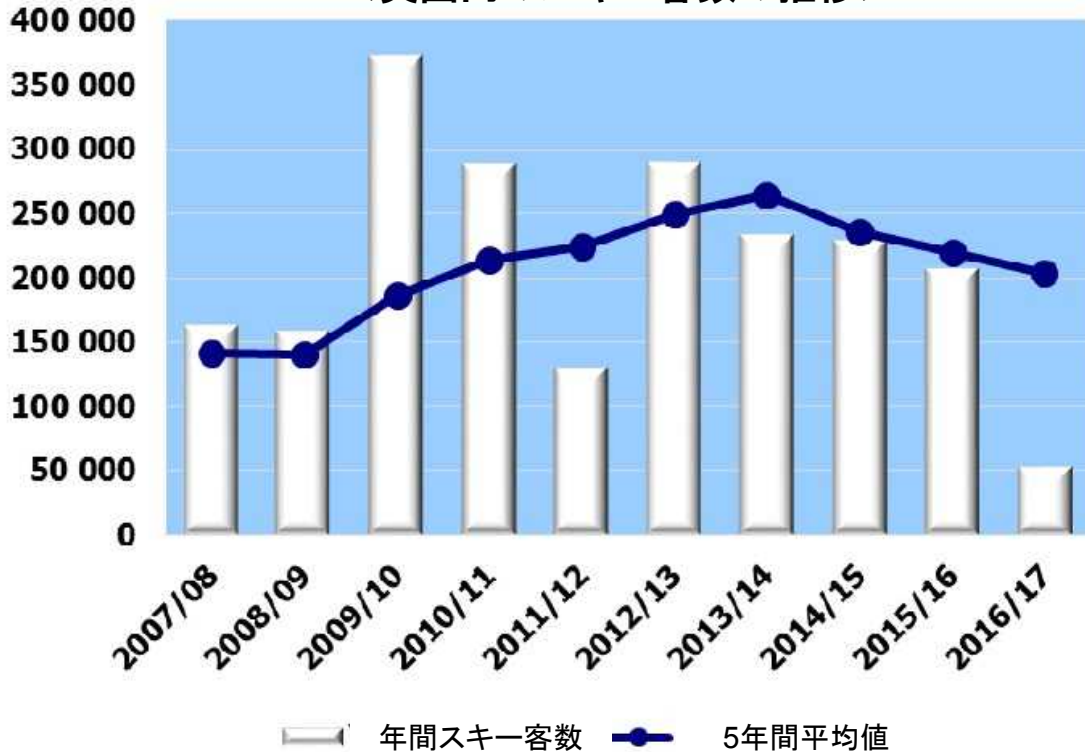
英国のスキー市場の概要

- 英国内のスキー人口は多いものの、国内に天然雪を使用したスキー場は非常に少ないためアルプス諸国のスノーリゾートを訪れている。

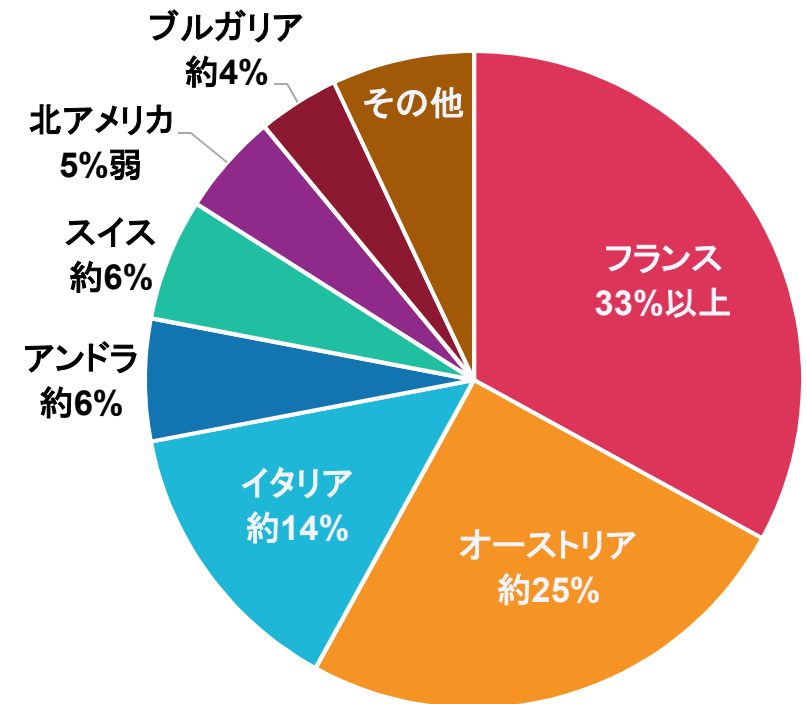
< 2018 International Report on Snow & Mountain Tourism より >

- 英国内の潜在的スキー人口は634万人と欧州第3位。
- 英国内で天然雪を使用しているスキー場はスコットランドの5箇所のみであり、天候と雪質の年によるばらつきが大きい。
- 室内スキー場が6箇所、ドライスロープが約50～60箇所あり、スキー・スノーボードの初心者層の拡大に貢献している。
- 100万人以上のイギリス人が毎年アルプス等の国外のスノーリゾートを訪れている。
- スキー旅行について以前は団体旅行が主流であったが、近年は個人旅行が増加してきている。

< 英国内のスキー客数の推移 >

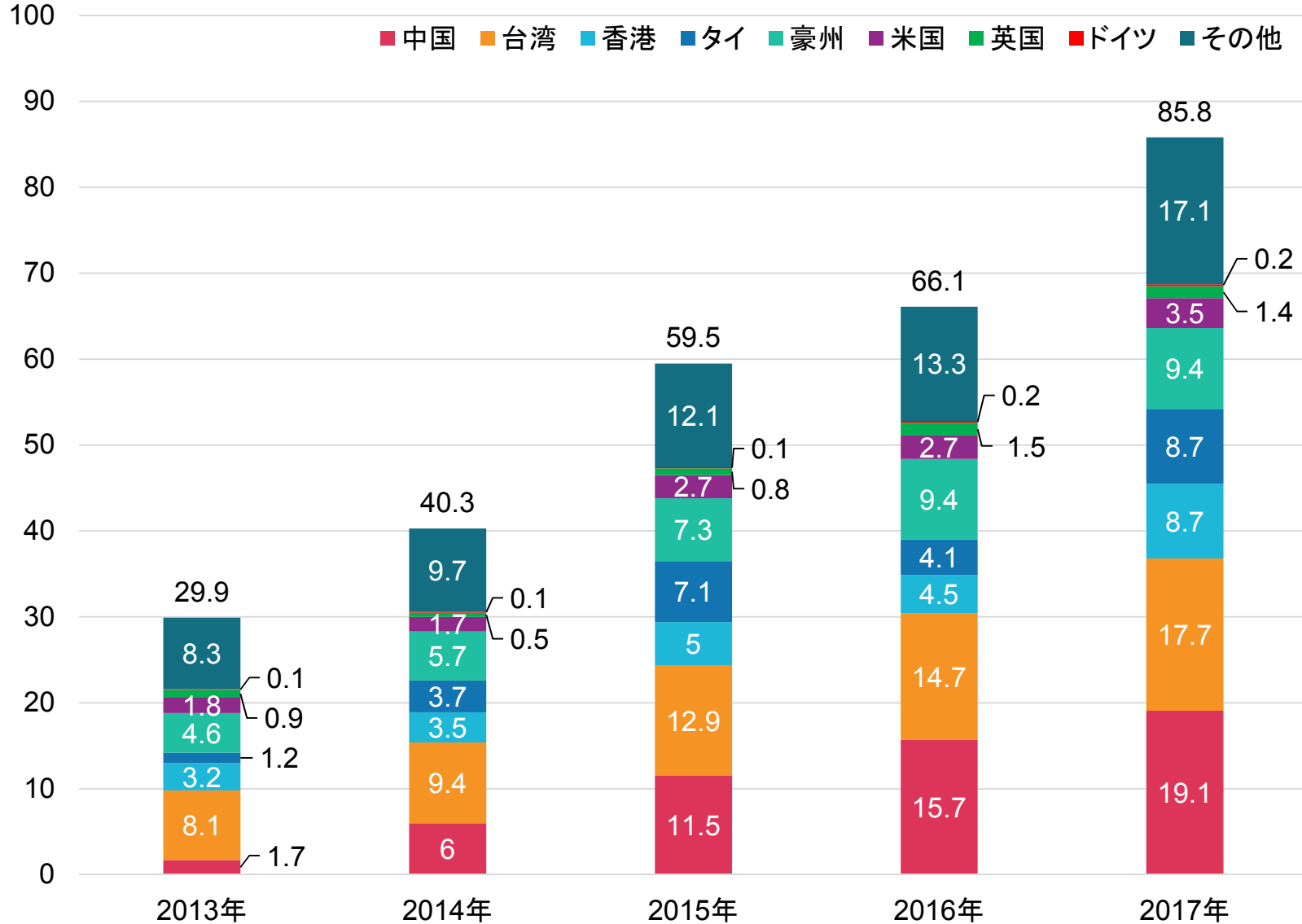


< 英国人のスキー目的地の割合(概数) >



訪日外国人スキー客の推移(推計)

- 訪日外国人旅行者数の増加に伴い、**外国人スキー客数も増加傾向**(2017年:推定**86万人**)。
- アジア諸国からのスキー客数は伸びているのに対し、ドイツは全く伸びていない。
- **英国及びドイツ**の推定スキー客数はそれぞれ1.4万人、0.2万人となっており、スキー人口の多い両国からの**スキー客を取り込めていない**。

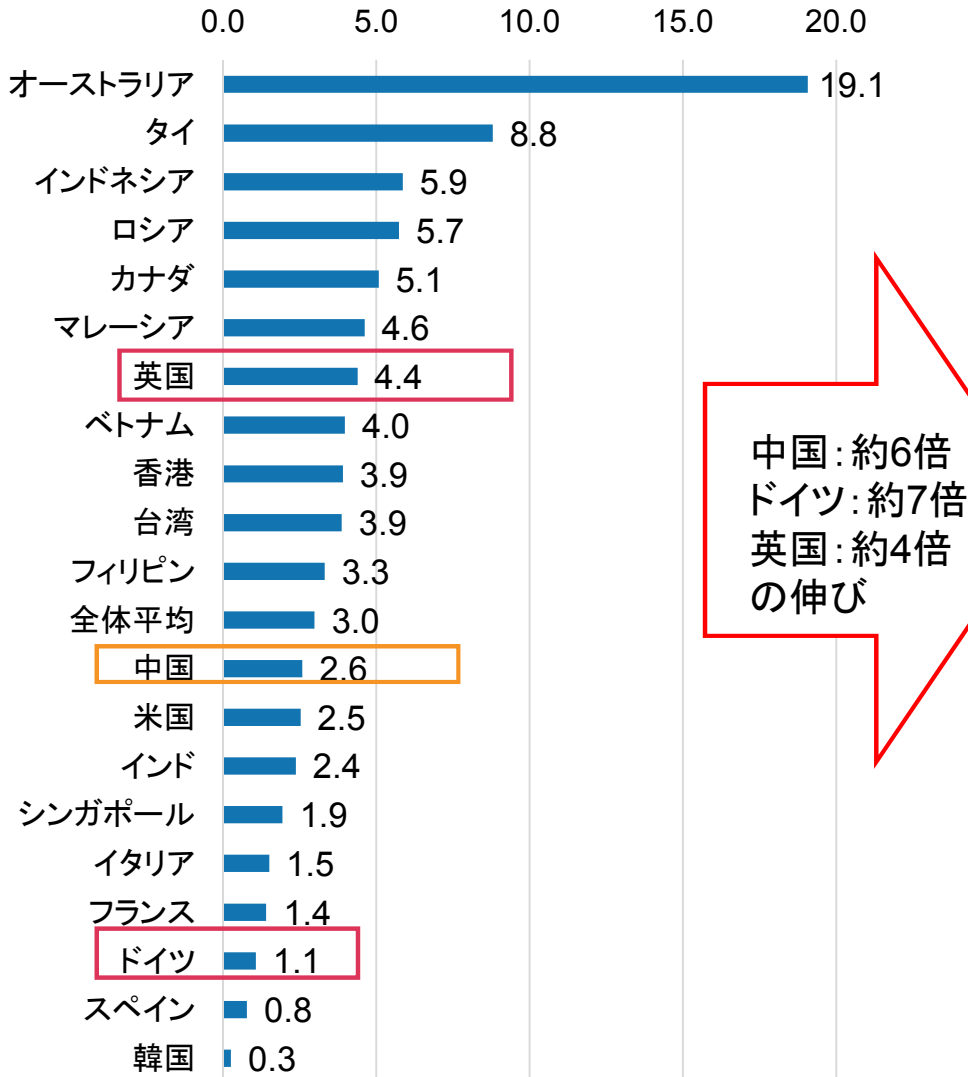


(出典)観光庁「訪日外国人消費動向調査」各年版(全目的)から推定

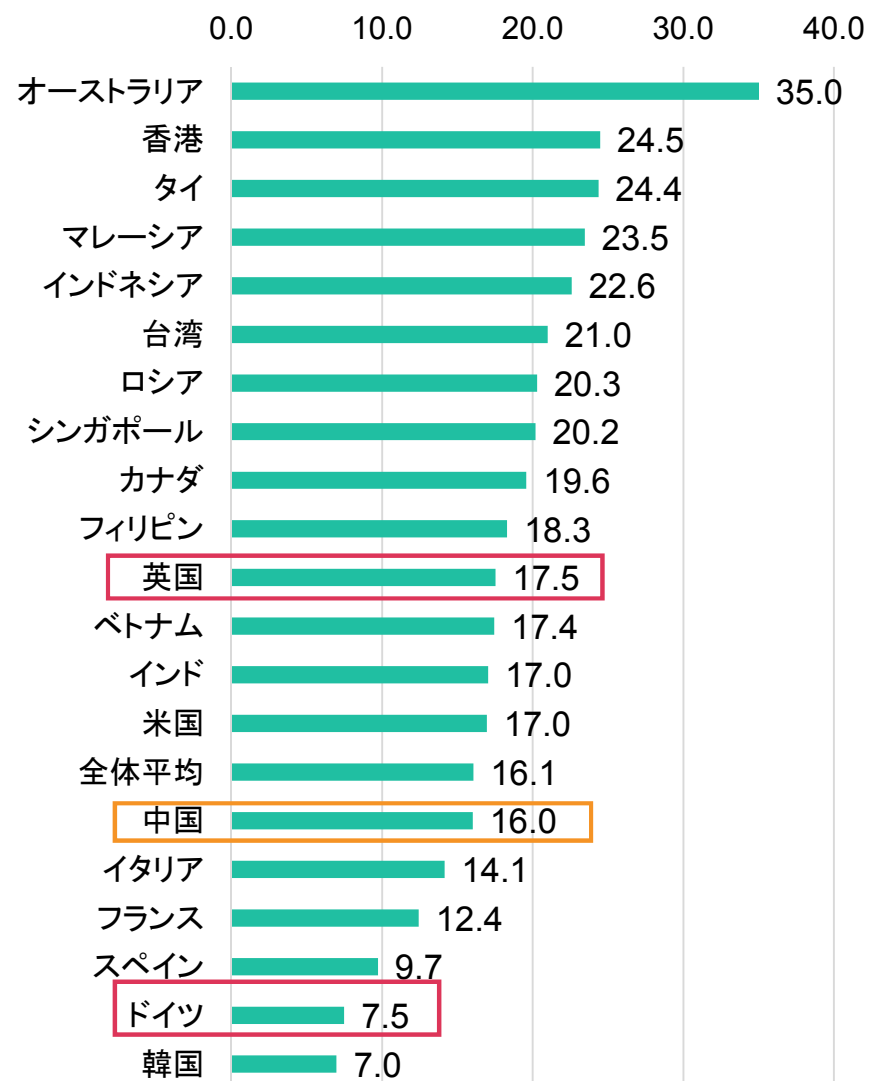
訪日外国人旅行者 国別のスキー実施意向比較

- 中国、ドイツ、英国ともに訪日することにより今回したことに対する次回したいことの割合が大きく伸びており(中国:約6倍、英国:約4倍、ドイツ:約7倍)、**伸びしろが大きい**と考えられる。

今回スキー・スノーボードを実施した割合(%)



次回スキー・スノーボードを実施したい割合(%)



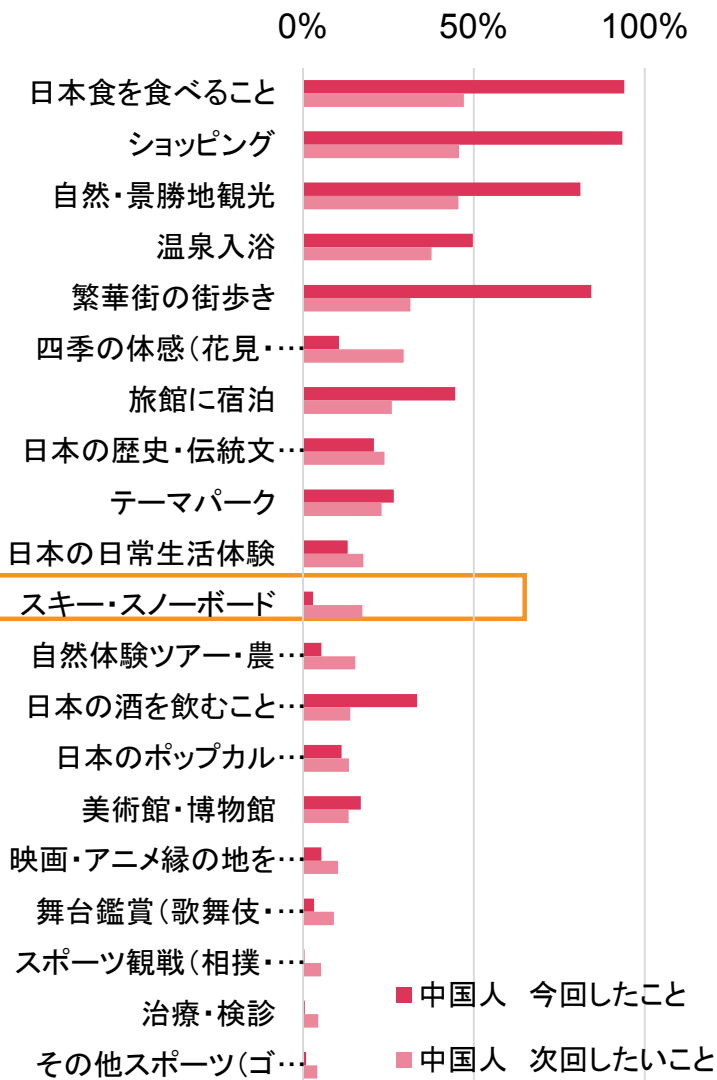
中国:約6倍
ドイツ:約7倍
英国:約4倍
の伸び

(出典)観光庁「訪日外国人消費動向調査」2017年

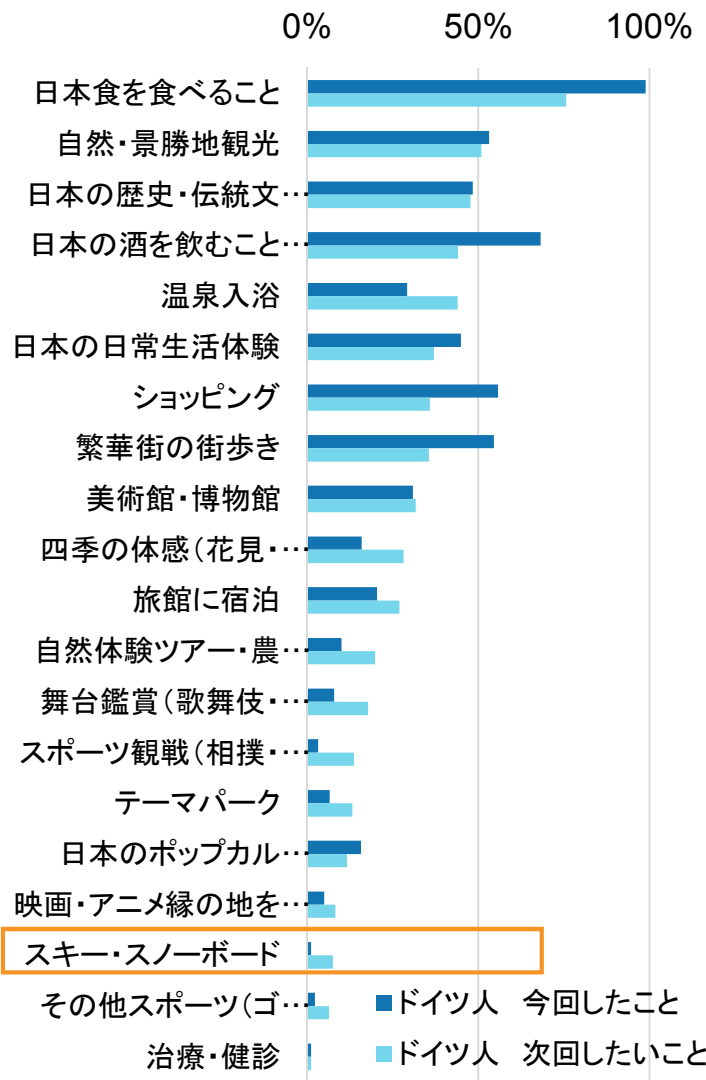
中国・ドイツ・英国のスキー実施意向(他項目との比較)

● 中国人、ドイツ人、英国人の訪日客の次回したいこと20項目のうち、スキー・スノーボードはそれぞれ11位、18位、15位となっている。

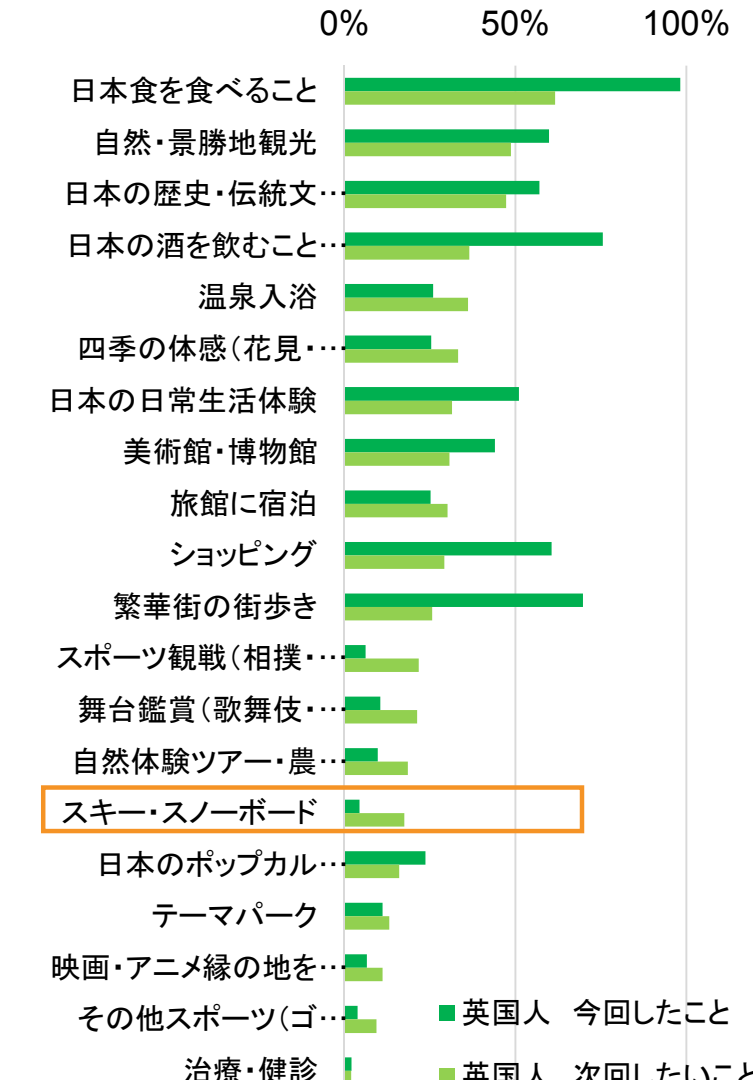
中国人訪日客が
今回したこと／次回したいこと(2017年)



ドイツ人訪日客が
今回したこと／次回したいこと(2017年)



英国人訪日客が
今回したこと／次回したいこと(2017年)



(出典)観光庁「訪日外国人消費動向調査」2017年